

鶴岡市ボランティアセンターだより

学生たちのボランティア活動⑥



今年度紹介している、鶴岡市内の中高校生など学生が地道に取り組んでいるボランティア活動。今回で計12の部活・サークル・学校の取組を紹介できました。まだ掲載していないところもあるので、来年度の紙面でも引き続き紹介していきます。鶴岡の学生たちの活動と想いを、ぜひ多くの方々に知っていただきますよう、そして応援をよろしくお願いいたします。

庄内農業高校

～農業高校ならではの素敵な活動～

「歴史公園」で花壇整備やイルミネーション制作！

藤島歴史公園（愛称Hisu 花くヒスカ）は、官民一体となって整備して、藤棚や花壇、桜、イルミネーション等で多くの人たちを癒し、楽しませてくれています。庄内の生徒たちも自分たちで育てた草花苗を定植したり、冬にはクリスマスツリーや壁面、瓶等で素敵なイルミネーションを制作し設置しています。



Hisu 花で花植え



クリスマスのイルミネーション作り

農福連携・園児の農業体験・

藤島駅周辺清掃等々！

農業高校らしい取組としては、他にも、生徒と地域の高齢者や就労訓練をしている人たちといっしょに学校の農場で野菜づくりを行って、子ども食堂等に取り組むNPO法人に届けています。コロナ禍前は、野菜を一人暮らし高齢者に届けたり、幼稚園児の田植えや稲刈り体験で優しい先生役に。学校全体のボランティア体験では、地域内の福祉施設や藤島駅周辺の清掃や草むしり等の環境美化活動も行っています。



園児との稲刈りを終えて

活動した生徒より

地域の方々と交流できたことや、公園を訪れた方が喜んでくれたことが、とっでも嬉しかった。日頃からお世話になっている藤島地域に少しでも恩返しができるならとても嬉しいです。

羽黒高校インターアクトクラブ

～羽黒地域を中心に…さらに鶴岡の様々な場所でも～

「羽黒芸術の森」や「いでは文化記念館」での活動！

「羽黒芸術の森」は、羽黒を拠点に活躍した洋画家の故今井繁三郎氏の「子どもや若い世代に共有される空間をつくる」という想いを受け継いで運営されている素敵な場所です。まずは、美術館見学から始めて自分たちができることを話し合い、スタッフから聞き取りも行い10月の「小さな森のマーケット」にお手伝いすることになりました。



芸術の森で苔の清掃



青色駐車場ペンキ塗り

当日に向けて、紹介ボードや看板づくり、清掃等も行い、さらに障がい者就労継続支援事業所さくらが丘で作られている商品の販売も行い、芸術と福祉を融合した場づくりに若い力と柔軟な発想を活かしてくれました。

また、日本遺産に認定されている出羽三山の歴史と修験道の発信拠点「いでは文化記念館」では、青色駐車場のペンキ塗り直し作業を行い、観光客等に対するバリアフリー環境づくりに貢献してくれました。

中央児童館では環境整備や「縁日」の準備を！

活動した生徒より

地域の方々と交流することで、自分たちも成長できていると実感しています。今後も、できることを探しながら来年度に繋げていきたいと思います。

鶴岡市中央児童館の、サポーターズクラブの一員として、環境整備や8月の「縁日」の準備に手伝いました。看板づくり、ちょうちんの飾り付け等を行い、子どもたちも喜んでくれました。



縁日の飾りつけ

2022年度「愛の鳩賞」受賞 鶴岡南高校 JRC 部

山新放送愛の事業団が毎年取り組んでいる、「愛の鳩賞」の贈呈式が12月8日（木）山形メディアタワー（山形市）で行われ、県内3団体に表彰状などが贈呈されました。

鶴岡市からは、1979年（昭和54年）に発足後43年間、地道に活動を続けている鶴岡南高校 JRC 部が受賞しました。日頃の活動の他にも、その時代の状況に合わせて、災害支援、献血、障がい児と交流、コロナ禍での医療従事者応援等、生徒たちのアイデアで時には学校全体に呼びかけながら様々な活動を実践してきたことが評価されました。本当におめでとうございます。



＜生徒代表2名と顧問の先生が出席しました。＞

企業・団体等による除雪ボランティア



今冬も山間部の除排雪への応援がスタート!

平成30年度、ボランティア活動をしたいと相談がありソーニセミコンダクタマニュファクチャリング(株)の社員とご家族の皆さんが、朝日地域で一人暮らし高齢者宅の除雪ボランティア活動に取り組んでくれました。それ以来、鶴岡市内の企業や団体の方々が毎年朝日地域の東部と南部地区で除雪活動を行って来ております。

今年も、12月の降雪で多くのお宅が屋根の雪おろしを行っている山間部で、皆さんの活動が1月14日(土)から始まりました。除雪作業を通して、窓からの光と温かい「心」も届けられておりました♡



【写真】三和メイトック(株)の皆さん3年連続の除雪ボラ活動!

小中学生が高齢者宅で除雪ボランティア!

～三中と一小 39名の児童・生徒が参加～

第一学区コミュニティ振興会(鈴木淳士会長)で、毎年行っている「冬季ボランティア体験」が今年も始まりました。1月14日(土)、第一学区コミュニティセンターでボランティア講習会を行い、翌週から1か月間、土曜日に希望があった一人暮らし高齢者宅等で除雪ボランティア活動を行っています。残念ながら、講習会の日は雪がなくて、雪灯籠作りができず、コミセン玄関に飾る大きな門松を2つみんなで作りチームワーク力を高めていました。今冬も、若い力が地域の中で頑張ってくれております。



▲ボランティア講習会より

西目地内土砂災害でのボランティア活動について(報告)

昨年12月31日(土)土砂災害発生後、ボランティアセンターには、県内外の多くの方々から「応援にいきます」「ボランティアにいきます」という連絡をいただきました。心より感謝の気持ちでいっぱいです。この度の災害では、現場がまだ二次災害の恐れもあり、今後も専門家により調査が予定されている状況でもあり、現場で作業をするボランティア活動は現時点では予定されておりません。

<現在の対応状況>

- 鶴岡市災害対策本部、また避難者の生活に関わる部署、地元住民組織等と情報共有中。
 - 避難世帯の引っ越し等、ボランティアが協力できることを市役所を通じて伝えてもらい、相談対応を開始。
- ※NPO、災害支援応援隊登録者等が活動対応します!

きこえのバリアフリー教室開催!

主催 要約筆記おひさま・パソコン要約筆記「はなまる」



昨年12月4日(日)、にこ♡ふる3階大会議室で「きこえのバリアフリー 聴覚障がいと要約筆記」が、44名の参加で開催されました。参加者には、「身近に聞こえにくい人いる」とか、聴覚障がいがある方も参加してくれて「要約筆記が利用できるなら利用したい」という声もありました。また「今日初めて要約筆記を見た」という人もいて、主催した団体はまだ知名度が低いと思う一方で、見たことがないのに関心を持ってくれる人がいたことに嬉しさも感じていました。



<主な内容> 聴覚障がいがある人の防災を考える(講話)・当事者の体験談・2つの要約筆記体験・要約筆記通訳以外の情報保障(他に、ヒアリンググループ、ピンディスプレイ)・他

ボランティア募集中!



- ◆活動場所 丙申堂(旧風間家住宅) 無量光苑・釋迦堂(風間家旧別邸)
- ◆活動内容 ①来館者の受付・ガイド ②庭園管理・軽作業 ①②のどちらかでも可
- ◆活動期間 令和5年4月15日～11月30日
- ◆活動時間 開館時間 午前9時30分～午後4時30分 ※時間、曜日は個別にご相談に応じます
- ◆申込締切 令和5年3月18日(土)
- ◆申込・問合せ先 公益財団法人克念社 担当上野さん・佐藤さん 鶴岡市馬場町1-17 電話0235-22-0015

高齢者ケアの一つの方法!

～「認知症マフ」づくり勉強会～



近年、病院に入院している認知症の高齢者が、点滴等を外してしまい治療に支障が増えているとのこと。医療従事者の皆さんの想いは、その時にミン等で防止するのではなく、精神的にも穏やかにいられるものがあればいいのですが…。そんな想いを叶えるものが、手作りの「認知症マフ」で、今、全国でマフ作りの取組が広がっています。

荘内病院で効果がでて救急隊でも活用開始!

荘内病院では、先駆的に取り組んでおり、現在市内の様々な団体でマフ作りを始めています。消防署の救急隊でも研修会を行い、救急車での活用も始めました。先日、市や荘内病院から相談を受けボランティアセンターでも1月19日(木)に勉強会を行い、参加者が今後も取り組むことになりました。



楽しく「マフ」づくり勉強会!

マフの材料になる毛糸をぜひ譲ってもらえませんか! <ボランティアセンターまで>

R5年度 ボランティア保険受付について!

令和5年度ボランティア活動に関する保険の受付を2月15日(水)から始めます。

- ◆受付場所 鶴岡市ボランティアセンター 藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海の各福祉センター

《らくがき》 節分は2月だと思いついてたが、実は、季節の変わり目にあたる立春・立夏・立秋・立冬の前日が節分だった。もちろん、それぞれに意味や由来もある。時代が大きく変わっていき、将来は「恵方巻」の文化だけが残っていくのかな… (Y)

